

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社日本ピスコ					
代表者名	氏名	山崎 清康	役職名	代表取締役会長		
主たる事務所の所在地	長野県岡谷市長地出早3-9-32					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	25 はん用機械器具製造業				
主たる事業の概要	空気圧機器製造業					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	2,065	1,962	2,296	2,267	2,344
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	4,356	4,136	4,841	4,753	4,945
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	19		19	20	20
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	21				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度	計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
報告対象年度	平成 31 年度		

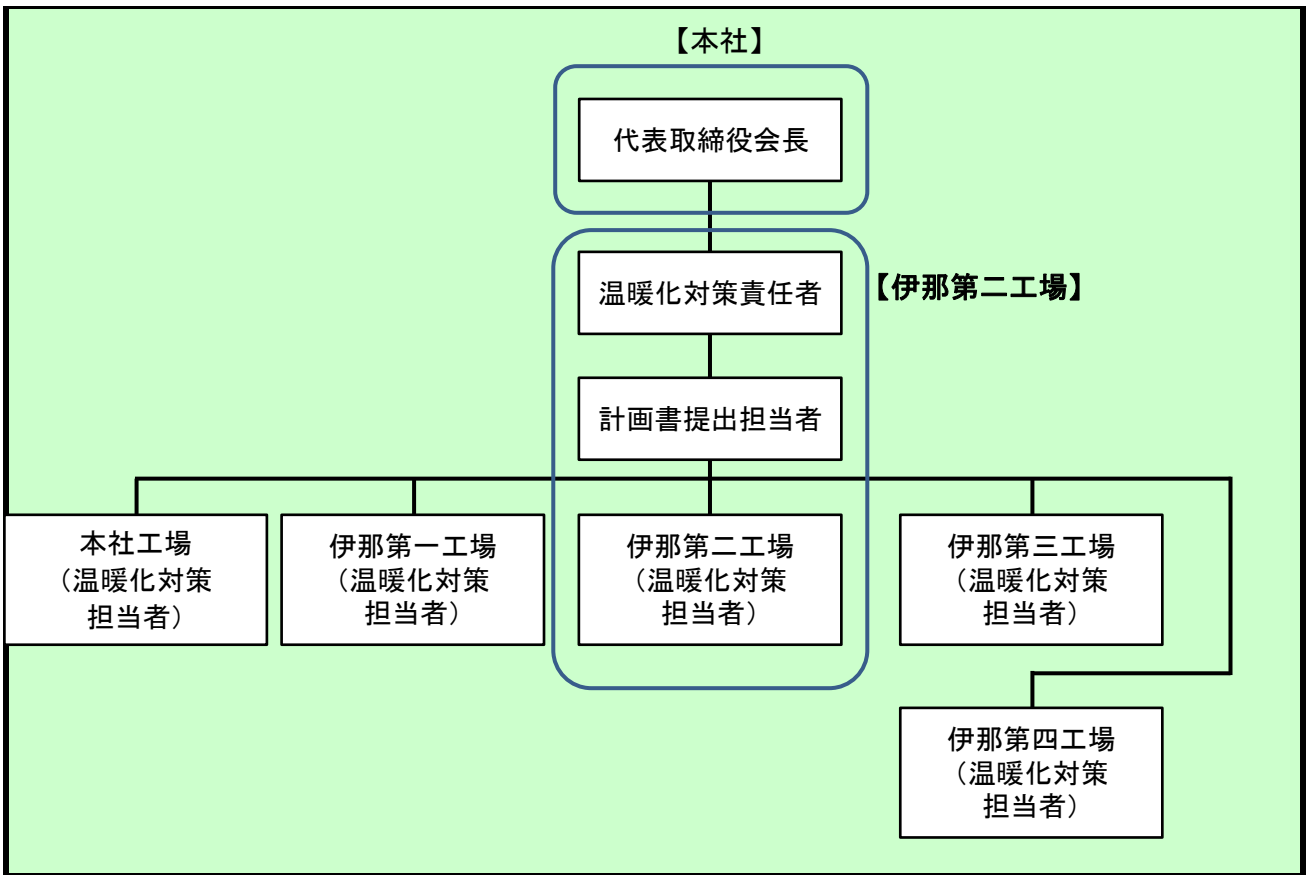
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	株式会社日本ピスコ伊那第二工場 平日9:00～17:00 経営管理グループ総務チーム TEL:0265-74-8801
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

1. 設備、照明等の効率化及び業務の無駄を排除し、省エネルギー化を図ります。
2. 廃棄物の削減と3R(リサイクル・リユース・リデュース)の推進に取り組み、限られた資源を有効に活用します。
3. 環境に配慮した技術・材料及び商品開発に取り組み、環境負荷の低減に努めます。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

名称：省エネ推進委員会
頻度：2回／年

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	4,356	t-CO ₂	生産数量	109.70	単位	百万個	
28年度	調整後排出量	4,326	t-CO ₂	基準原単位	39.71	t-CO ₂ /	百万個	
目標年度	目標排出量	4,136	t-CO ₂	目標原単位	37.70	t-CO ₂ /	百万個	寄与度の合計から求めた目標削減率※
31年度	目標削減率	5.05	%	目標削減率	5.06	%		
目標設定に関する説明	生産環境の見直しを行い、工場内の無駄な使用電力の削減を進め、3年間で5%の抑制目標を達成する。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	4,841	t-CO ₂	生産数量	133.61	単位	百万個	
	調整後排出量	4,799	t-CO ₂	原単位	36.23	t-CO ₂ /	百万個	寄与度の合計から求めた実績削減率※
29年度	削減率	(11.14)	%	削減率	8.76	%		
排出量等の増減理由	倉庫棟の増設により電気使用量は増加したため、排出量は増加した。しかし、生産数量が増加したため、原単位は減少した。							
第二年度	排出量	4,753	t-CO ₂	生産数量	126.57	単位	百万個	
	調整後排出量	4,719	t-CO ₂	原単位	37.55	t-CO ₂ /	百万個	寄与度の合計から求めた実績削減率※
30年度	削減率	(9.12)	%	削減率	5.43	%		
排出量等の増減理由	昨年の理由プラス猛暑によるエアコンの使用負荷大、開発耐久試験用の大型コンプレッサの導入、開発の為に試験・検査等、生産個数に直結しない電気使用量が増加したため排出量が増加した。また、生産数量が減少した為、原単位も増加した。							
第三年度	排出量	4,945	t-CO ₂	生産数量	105.67	単位	百万個	
	調整後排出量	4,902	t-CO ₂	原単位	46.80	t-CO ₂ /	百万個	寄与度の合計から求めた実績削減率※
31年度	削減率	(13.53)	%	削減率	(17.86)	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	開発耐久試験等、製品開発のために大型コンプレッサを導入し、耐久試験、検査等でフル稼働したため、生産に寄与しない電気使用量が大幅に増えた。前年度に比べ生産量が減少した。							

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

